

教会の子どもたちの夏季キャンプのお楽しみの一つはキャンプ・ファイヤーです。その時のレクレーションの定番となっているのが、「アブラハムには7人の子」のダンスです。手足を順に出し、腰を振り、ぐるぐる回り、最後にはハトハトになりながら、大笑いで終わるダンスは子どもたちに大人気です。これの振り付けを担当するリーダーは年季が入っていて、なかなか上手なので、いつもご指名が来るというわけです。この歌の家族はなんだか楽しそうですね。

♪♪ アブラハムには 7人(しちにん)の子 一人はのっぽで あとはちび
みんな仲よく くらしてる さあ おどりましょう 右手(右手) ♪♪

聖書のアブラハムは8人の子持ちです。サラとの間にイサク、サラの女奴隷ハガルに産ませたイシュマエルがいます。サラが死去した後に、アブラハムは150歳頃に、ケトラと再婚して、6人の男子を儲けました。ただし側女の子ともと言い換えています。

右の絵のようにご近所同士で、また歌のように仲良く暮らしたわけではありません。アブラハムを葬ったのはイサクとイシュマエルの二人でした。



Venice Haggadah (1609) エール大学図書館

アブラハムはパンと水の皮袋だけ与えて、ハガルとイシュマエルを荒野に追放しました。彼らがパランの荒野（ネゲブの南）に住んでいた時、ハガルは息子にエジプトから妻を迎えます。パランの荒野は乾燥した砂利の多い恐ろしい砂漠と言われ、何度も聖書に出てきます。

イシュマエルは12人の男子を授かりますが、一族は「エジプトに近いシュルに接したハビラからアシュル方面に向かう道筋に沿って宿営し、互いに敵対しつつ生活していた」と記されています。息子の一人ミディアンはミディアン族となり、ミディアンに住みます。



パラン



アブラハムはイサクに全財産を譲った後、ケトラの家族には贈り物を与えて、「自分が生きている間に、東の方、ケテム地方へ移住させ、息子イサクから遠ざけた」とあります。

この地図（Bible Land Maps より）で見ると、イシュマエル一族、ケトラによる一族は、現在のサウジアラビアの北西部に、イサク一族から遠く離れて住んだようです。今も昔も腹違いの兄弟は、財産争いや勢力争いが問題となります。父系では反発しても、母系ではしっかり繋がりがあっているのは興味深いです。

彼らは、アフガニスタンで働かれる中村哲氏が「人々は今に至るまで、地縁、血縁による小国家群として割拠して、それぞれが利害調整を図りながら生活してきている」と言われるように、緊密な小集団が他を認め合いつつ、暮らしていたようです。